

ELSI センター開設



現在、AI 技術等の急速な進化にヒトの知恵さえも追いつかず、企図した理想社会とは逆のディストピアが現実のものになるという危惧さえも指摘されています。そのような状況下において、中央大学では ELSI センターを2021年4月に設立し、英智を集めて解決すべき課題群について熟考し、ソーシャル・イノベーションを通じてインクルーシブな社会へと発展させるため、DX (デジタルトランスフォーメーション)の推進を目指します。

ELSIセンター所長 挨拶

情報化とグローバル化により、社会は加速度的に変革されています。特に、情報はネットワークを通じて世界中を瞬時に駆け巡るとともに共有化が進んできています。莫大な情報は、計り知れない価値を生み出すとともに、新たな懸念や問題を生み出しています。例えば、走行データを巨大データセンターに蓄積し、それをクラウド・コンピュータの AI に学習させることでさらなる性能向上を図っている自動走行車が、だれも予見できないような行動をとって事故を起こした場合には、誰が責任を負うべきなのでしょう？ いまは、AI 技術の急速な進化にヒトの知恵さえも追いつかず、企図した理想社会とは逆のディストピアが現のものになるという危惧さえも指摘されています。

こうした懸念や問題に対して、宗教・倫理・法律といった現在の社会規範は、必ずしも適切に対応できていません。個人情報、顔認証、歩容認証、またはサイバースペースで行われる情報共有ソフトなどにおける不適切な行為が、いまだ適切なルールによ

て制御されていない例は数多くあります。そのような状況下において、英智を集め、情報科学技術、さらには生命科学技術に代表される先進的な科学技術の発展可能性を見据えつつ、新たな規範のあり方を構想し、新しいルールを提案することは極めて重要な喫緊の課題です。

中央大学 ELSI センターでは、解決すべき課題群について熟考し、科学技術イノベーションと共進化する、すべての人々がインクルーシブな社会発展を創造するために、新たな倫理や規範、来るべき社会の在り様について追求していきます。さらには、産官学連携の研究基盤により、社会の様々な課題群を解決することにも貢献しようと考えています。

中央大学 ELSI センター
所長 須藤 修



教育力研究開発機構の設置

今日、大学教育を取り巻く環境が大きく変化しています。18歳人口の急速な減少、社会経済のグローバル化、DX (デジタルトランスフォーメーション)などへ対応した、新たな大学教育のあり方が問われています。そこで、中央大学における教育のあり方について調査研究開発を行い、教育力を飛躍させることを目的として、2021年4月に教育力研究開発機構を設置しました。

本学の教育力飛躍のプラットフォームとして、①教育コンテンツに関する技術的問題への対応、②オンライン授業コンテンツに関する権利問題への対応、③ ICT を活用した教育技法の研究開発、④ FD (Faculty Development) と SD (Staff Development) との連携した取り組み、⑤学修成果の評価技法の研究開発、⑥ DX に対応した新しい学生ポートフォリオの開発などに取り組みます。また、多様な実績を有する専任研究員の配置、学内の各領域の専門家との連携、産学協働など多様な手法を活用して、本学と日本の高等教育機関の教育力向上に貢献します。

教育力研究開発機構機構長 挨拶

2019年、日本国内の出生数ははじめて90万人を下回って86万5,234人となり、社会に衝撃が走りました。2021年にはこれが70万人台になるとの試算もあり、日本社会の少子化は予測を超える速度で進んでいることが明らかとなっています。そこで、AI 技術の活用、ロボットの活用、移民の受け入れ、国際的分業の強化、コンパクトシティへの移行等など、多くの施策が検討されていますが、そこで重要なのは、どのような施策であれ、それを担うのは、まさに世代人口が減少している若者であるという点です。

ここに、大学の教育力の強化が求められる理由があります。これからの学生には、否応なしに、知識を継承し共有することを出発点として、誰も経験したことのない新しい構造の社会を維持・発展させる知恵を生み出す力の修得が求められます。大

学教育は、まさにこれを支えるものとして、発展し続ける必要があるのです。

2021年4月1日、中央大学は、中央大学教育力研究開発機構を開設いたしました。当機構は、本学における教育力を高めるために、様々な研究開発に取り組むと共に、その成果をもって広く高等教育に貢献することをも企図しております。本学教員のみならず、多くの高等教育関係者のご協力・ご支援をいただきたく、ご挨拶とお願いを申し上げます。

中央大学教育力研究開発機構
機構長 佐藤信行



中央大学多摩キャンパスで2020年度入学生への歓迎・激励セレモニーを実施

本学在学生の TikTok クリエイター 修一朗、本学卒業生 東京ホテイソンがサプライズ登場

2021年3月28日(日)、中央大学多摩キャンパスにて、2020年度入学生(新2年生)を歓迎・激励するためのセレモニーを実施しました。

本セレモニーは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、さまざまな困難と不自由のなかでも希望と志をもって勉学に励む学生を、教職員一同、精一杯応援したいと考え開催したものです。学長挨拶、2020年度入学生代表による挨拶、在学生代表による歓迎・激励のメッセージ、在学生のアイディアに基づく歓迎企画を実施しました。

なかでも、在学生代表による歓迎・激励のメッセージと歓迎企画は、サプライズ企画として実施しました。在学生代表として TikTok クリエイター 修一朗さんが登壇し、歓迎企画では、実業界、法曹、マスコミ、スポーツ、タレント、音楽など、各分野で活躍されているOB・OG約30名よりお寄せいただいた在学生への激励・応援メッセージ動画の一部を上映し、サプライズゲストとして東京ホテイソン(たけるさんが本学商学部卒業)にご登壇いただきました。

セレモニー当日には、一般社団法人全国包装米飯協会様より、地方出身の学生が多い本学に対し、バックごはんの無償提供を通して食糧支援をしたいというご厚意で計9,000個のバックごはんを無償提供いただき、新2年生に配布いたしました。

大学の学修環境はもとより課外活動等を含めた学生生活は、感染予防と健康・安全のために新しい様式のもとで変容しつつありますが、中央大学では今後も、本学でのさまざまな出会いと生活が、学生の輝かしい未来の礎となるよう、さまざまなことに挑戦する機会を提供したいと考えています。



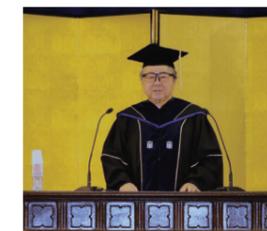
応援団による演舞



歓迎企画 登壇者：東京ホテイソン



在学生代表による歓迎・激励のメッセージ
登壇者：TikTokクリエイター修一朗



学長挨拶



2020年度入学生代表による挨拶 法学部 同伴者サテライト会場



一般社団法人全国包装米飯協会様ご提供のバックごはん

ダイバーシティスクエアを開設

ダイバーシティセンターでは、5月14日(金)から、多摩キャンパス FOREST GATEWAY CHUO 2階の事務室の隣に、学生の居場所スペース「ダイバーシティスクエア」を開設しました。

このダイバーシティスクエアは、中央大学ダイバーシティ宣言が掲げる「障害、病歴、経済状況、家庭環境、性別、性自認、性的指向、年齢、国籍、人種、言語、信念、宗教など、多様な背景をもつ人びとが、ともに学び、ともに働く」キャンパスの創造を目指し、①安心・安全な居場所の提供、②相談対応、③情報収集・発信、啓発・研修の機能を持つ場所として運営していきます。

利用可能時間は、【授業実施日・月～金曜日】の10:30～14:30
本学学生であればどなたでも利用することができます。



2022年4月より中央大学商学部 商業・貿易学科が「国際マーケティング学科」に学科名称変更 グローバルな視点でマーケティングと国際貿易の理論や実務を学ぶ

中央大学商学部 商業・貿易学科は、2022年4月入学生より「国際マーケティング学科」へ名称変更いたします。国際社会において、消費者の価値観の多様化や企業の国際化、貿易の重要性が高まるなかで、「国内外の製品・サービスの取引を科学する」ことを目指し、国際的な視点でマーケティングと貿易の理論や実務を学ぶことができます。

国際マーケティング学科では、広く豊かな学識と優れた専門能力を有し、国内外の視点をもって取引を通じて社会に価値を創造できる人材を養成することを目指します。入学定員：300名(商業・貿易学科から変更なし)・学位：商学(商業・貿易学科から変更なし)

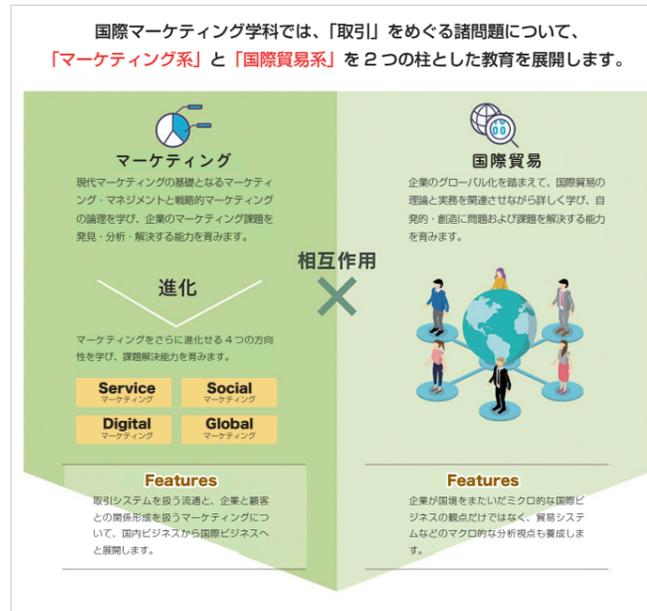
■学びのポイント

企業の国際活動を念頭に、マーケティング、流通、消費者行動、貿易等に関する専門科目やビジネス実務の講義を通じて、国際社会で必要とされる知識と課題解決能力を身に着けます。さらには、学びの実践として、ゼミでの調査・研究や、海外でのインターンシップにも挑戦することができます。

■人材育成と卒業後の進路

国際マーケティング学科では、広く豊かな学識と優れた専門能力を有し、国内外の視点をもって取引を通じて社会に価値を創造できる人材を養成することを目指します。

なお、本学科においては、卒業後の進路は、業界として、たとえば、生産財メーカー、消費財メーカー、貿易業者、商社、流通業者、小売・卸売、サービス業者、プラットフォーム企業、業務として、たとえば、マーケティング戦略の立案・実行、マーケティング調査、ウェブマーケティング、マーケティング・データ分析、新製品の開発、ブランドの開発・管理、流通チャネルの構築、販売・セールス、国際貿易実務、マス広告やインターネット広告、販売促進の企画・制作・運用などが期待されます。



2020年度卒業生のおもな就職先(全学部)

順位	企業名	計	順位	企業名	計	順位	企業名	計	順位	企業名	計
1	東京都庁	31	21	三井住友信託銀行	12	55	凸版印刷	8	70	経済産業省	7
2	国税庁	28	21	日本政策金融公庫	12	55	SCSK	8	70	東京都世田谷区役所	7
3	明治安田生命保険	24	21	有限責任監査法人トーマツ	12	55	ソフトバンク	8	70	東京都練馬区役所	7
3	りそなホールディングス	24	21	システナ	12	55	千葉県庁	8	85	アクセンチュア	6
5	日本電気	22	21	地方裁判所	12	55	新生銀行	8	85	日本マクドナルド	6
6	日本生命保険	21	33	国土交通省	11	55	SOMPOひまわり生命保険	8	85	NECネットエスアイ	6
7	みずほフィナンシャルグループ	20	33	みずほ証券	11	55	大樹生命保険	8	85	ジュビターテレコム	6
8	東日本旅客鉄道	19	33	厚生労働省	11	55	三井住友海上火災保険	8	85	日本交通	6
9	楽天	17	33	神奈川県川崎市役所	11	55	埼玉県教育委員会	8	85	TKC	6
10	NECソリューションイノベータ	16	37	ニトリ	10	55	臨海	8	85	ビックカメラ	6
10	富士通	16	37	有限責任あずさ監査法人	10	55	伊藤忠テクノソリューションズ	8	85	朝日生命保険	6
10	レイス	16	37	日立システムズ	10	55	いえらぶGROUP	8	85	ジェーシービー	6
13	大塚商会	15	37	積水ハウス	10	55	船井総合研究所	8	85	日本通運	6
13	あいおいニッセイ同和損害保険	15	37	神奈川県教育委員会	10	55	財務省財務局	8	85	キャンノITソリューションズ	6
13	三井住友銀行	15	37	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	10	55	高等裁判所	8	85	JR東日本情報システム	6
13	神奈川県庁	15	37	オープンハウス	10	70	千葉銀行	7	85	NTTデータ・フィナンシャルコア	6
13	警視庁	15	37	自衛隊	10	70	三菱UFJ銀行	7	85	ベネッセスタイルケア	6
18	メンバーズ	14	37	農林水産省	10	70	横浜銀行	7	85	岡三証券	6
18	神奈川県横浜市区役所	14	37	埼玉県庁	10	70	大和ハウス工業	7	85	バイカレント・コンサルティング	6
20	パーソルプロセス&テクノロジー	13	47	パナソニック	9	70	日本アイ・ピー・エム	7	85	ゆうちょ銀行	6
21	富士ソフト	12	47	富士通エフサス	9	70	キーエンス	7	85	日本年金機構	6
21	中央大学	12	47	NTTデータ・アイ	9	70	第一生命情報システム	7	85	財務省	6
21	エヌ・ティ・ティ・データ	12	47	セコム	9	70	EY新日本有限責任監査法人	7	85	厚生労働省労働基準監督署	6
21	東日本電信電話	12	47	住友生命保険	9	70	ニッセイ情報テクノロジー	7	85	埼玉県さいたま市役所	6
21	第一生命保険	12	47	三菱UFJ信託銀行	9	70	アウトソーシングテクノロジー	7	85	東京都港区役所	6
21	三井不動産リアルティ	12	47	静岡銀行	9	70	かんぽ生命保険	7	85	東京都杉並区役所	6
21	東京海上日動火災保険	12	47	中央労働金庫	9	70	財務省税関	7	85	神奈川県警察本部	6

公益財団法人白門奨学会から学校法人中央大学へ、「奨学支援の心」伝える

6月4日、公益財団法人白門奨学会様より、コロナ禍により経済的に困窮している本学学生に対し、4億円の奨学支援を賜りました。なお、白門奨学会様からは昨年度も3億円の奨学支援を賜り、昨年度実施した在学生への特別支援に活用させていただきました。

様々なコロナ禍の影響を受ける中で、本学学生の学びを継続できる環境づくりに多大なご貢献をくださったご厚意に対し、本学から特別感謝状を贈呈しました。

久野修慈白門奨学会理事長からは、「100年に1度のコロナ禍の中で翻弄される学生への支援を、同理事会、評議員会とも全会一致で決定した。しかし、この決して少なくない額について、これまでの基金を取り崩すにあたり、白門奨学会の設立以来、寄付してくださった先人たち、すでに他界している方には墓前へ報告をしたいと考え、本日贈呈という形でけじめをつけることとした。先人たちは様々な思いを寄せながら

奨学支援を目的に寄付をしてくださった。今回のコロナ禍における学生支援に際し、大学側へこれら諸先輩の志を含め、「心」をきちんと伝えたい。同時に、どのような学生支援を実施したか等、大学としても寄付者へきちんと伝える必要があると考えている。」との言葉を頂きました。

大村雅彦理事長からは、「この度の多くのご支援のおかげで、今年度は2つの学生支援策、一つは新たに大学生活を開始した新入生約6,900人を対象に、学修に係る情報環境整備費等への奨学支援として5万円の奨学給付(総額約3億5千万円)、もう一つはよりいっそう経済的に困窮している学生を対象に、最大70万円の奨学給付(試算額約1億8千万円)を実施します。」と報告し、

学校法人として感謝の意を伝えました。

また、河合久学長からは、「昨年度から大学としてオンライン授業に係る環境整備を進めており、対面授業とオンライン授業の適切な組み合わせによる授業運営のための環境整備に注力している中で、昨年度に引き続き、学生へ経済支援の手を差し伸べていただけることに感謝します。」と、大学を代表して感謝の意を伝えました。



「キフカツ」始めました!

—ブランドバックや時計など、ご自宅で眠っている品物はありますか?

▲ 申込ページイメージ

本学では、洋服・ブランド品の買取・販売事業を展開する株式会社スタンディングポイントと連携し、「キフカツ」による寄付金の受付を開始しました(Webでの申し込みに限ります)。

「キフカツ」は、不要となった物品(洋服や着物、ブランド品等)を当社が引取り、査定した金額の全額もしくは一部(利用者の意思によります)を当社が利用者に代わって本学に寄付金として入金するというシステムで、物品の集荷から本学への振込に至るまで、利用者の皆さまが負担する費用は一切発生いたしません。本学では、収受した寄付金は利用者の皆さまからのご寄付(Chuo Vision 2025 募金「5 指定なし」)として寄付金受領証明書等を発行いたしますので、寄付金控除の対象とすることができます。

申込方法などの詳細については、こちらのQRコードからキフカツ申込ページをご確認ください。

